

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月12日

協議会名: **新城市地域公共交通会議**

評価対象事業名: **陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)**

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>【補助対象となる事業者名等の名称を記載】</p>	<p>【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】</p>	<p>【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】</p>	<p>A・B・C 評価</p>	<p>A・B・C 評価</p>	<p>【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載</p>
<p>豊鉄タクシー株式会社 西部線 (地域内フィーダー系統)</p>	<p>川田原滝～旧新城東高校</p>	<p>・希望者へ、マイバス時刻表を作成し配付した ・沿線地域である千郷地区の地域住民で構成された「千郷地域自治区の足を確保する会」において、西部線の見直しに向け、様々な議論を行った。</p>	<p>A</p> <p>沿線住民の通院や買い物の足として利用されており、重要な路線となっている。 事業は計画通り行うことができた。</p>	<p>B</p> <p>①利用者数 目標3,694人／実績3,160人 一達成度83% ②収支率 目標7.72%／実績5.36% 一達成度69% ③利用者の満足度 目標1.10／実績1.11 一達成度(基準値1.0との差 +0.11) ・主たる利用者が高齢者であり、通院や買い物等といった、生活に必要な移動手段として利用されているが、地域で活発に検討をしたことにより、公共交通への関心の高まりから、利用者が増えた。</p>	<p>路線の利用者は主に高齢者であり、通院や買い物等の移動手段として利用されている。本年地域住民との意見交換をしたことや関係者との調整を図ったことで、令和5年度からの路線再編の準備が進んでいる。ニーズの確実な獲得を図るべく、最終的な調整を進めていく。</p>
<p>新城市 塩瀬線 (地域内フィーダー系統)</p>	<p>①上島田方面1便 (玖老勢～只持～上島田) ②大海駅方面1便 (上島田～玖老勢～大海駅) ③上島田方面2便 (大海駅～只持～上島田) ④塩瀬布里循環線1便4便 (大海駅～只持～源氏～愛郷～上島田～布里～玖老勢) ⑤塩瀬布里循環線2便3便 (大海駅～玖老勢～布里～上島田～愛郷～源氏～只持～玖老勢～大海駅)</p>	<p>・希望者へ、マイバス時刻表を作成し配付した ・地区住民との意見交換を行った</p>	<p>A</p> <p>中学生の通学の足として、高齢者の通院、適切に運行できた。他路線との接続もしており、利用者の利便性も確保できた。</p>	<p>B</p> <p>①利用者数 目標1,706人／実績1,538人 一達成度85% ②収支率 目標3.63%／実績2.97% 一達成度69% ③利用者の満足度 目標1.20／実績1.05 一達成度(基準値1.0との差+0.05) ・主たる利用者が高齢者であり、通院や買い物等といった、生活に必要な移動手段として利用されている。令和2年度に循環線として再編したことにより利用者が一時増加したが、本年は減少した。</p>	<p>地域住民との意見交換の場を設け、ニーズを把握し、より利用しやすくなるよう検討する。</p>
<p>新城市 つくであしがる線 (地域内フィーダー系統)</p>	<p>作手地区全域</p>	<p>・地区住民との意見交換を行った ・新たに指定乗降場所を設置した</p>	<p>A</p> <p>高齢化およびバスが通れない狭小な道路や集落が点在する地域において、移動の足の確保を適切に行うことができた。</p>	<p>B</p> <p>①利用者数(守義線含む) 目標3,410人／実績3,494人 一達成度102% ②収支率 目標3.44%／実績2.08% 一達成度60% ③利用者の満足度 目標1.20／実績1.07 一達成度(基準値1.0との差+0.07) ・主たる利用者が高齢者であり、地区内での通院や買い物等といった、生活に必要な移動手段として利用されている。利用者のリピート率の向上により、乗車数が増えている。</p>	<p>関係者連絡会において、より利用しやすくなるための改善点を把握する。移動の手段のない高齢者へきめ細やかに利用方法等の周知と新たな目的地などニーズ調査を行っていく。</p>
<p>新城市 湯谷温泉もつくる新城線 (地域内フィーダー系統)</p>	<p>もつくる新城南～鳳来寺山山頂</p>	<p>・高速バス「山の湊号」との企画切符を導入し、利用促進を行った ・新城総合公園内に新たにバス停を設置した。</p>	<p>A</p> <p>今までバスが通っていなかった地域の住民の交通手段として、また、観光地への移動方法として、地域間幹線系統と連携した運行することができた。</p>	<p>B</p> <p>①利用者数 目標4,982人／実績1,880人 一達成度38% ②収支率 目標11.85%／実績6.26% 一達成度53% ③利用者の満足度 目標1.00／実績1.20 一達成度(基準値1.0との差+0.2) ・今までバスが通っていなかった地域の住民の新たな交通手段として、また、観光地への移動方法として、目標は達成できなかったが運行することができた。</p>	<p>引き続き、沿線住民へのバスの乗り方講座等の利用促進策を実施し、周知を図る。観光地との連携も検討し、関係先との協議を行っていく。</p>